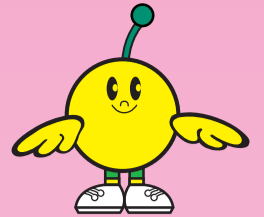
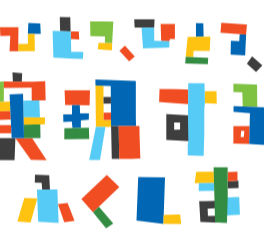


新しい福島創生予算を可決!



県議会ふくしま

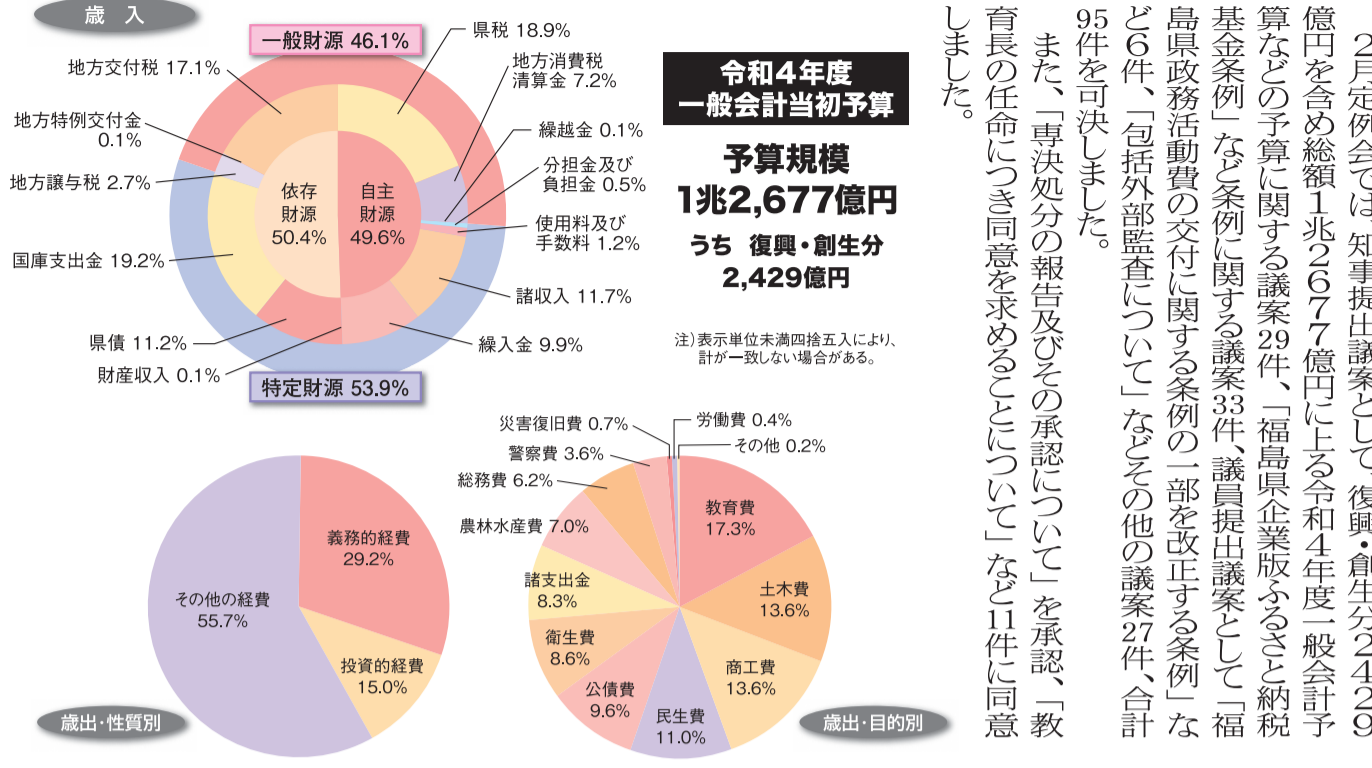
第89号
〔企画・編集〕
福島県議会
広報委員会



〈広告〉

情報共有を図ってきたほか、特に県内の重要インフラ事業者に対しては、福島県が個別に訪問し、セキュリティ対策の内容や脆弱性を確認して必要な指導を行い、共同対策を実施するなど、共同対策の充実、強化に努めている。

新型コロナウイルス感染症への対応など総額1兆2,677億円



新しい総合計画(令和4~12年度)がスタート

新型コロナウイルス感染症への対応など総額1兆2,677億円による令和4年度一般会計予算などの予算に関する議案29件、「福島県企業版ふるさと納税基金条例」など条例に関する議案33件、議員提出議案として「福島県政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例」など6件、「包括外部監査について」などその他の議案27件、合計95件を可決しました。

「復興・再生」の加速		「地方創生」の推進	
1 避難地域等復興加速化 42事業 601億円	2 人・きずなづくり 39事業 65億円	3 若く人づくり 115事業 206億円	4 豊かなまちづくり 42事業 99億円
● 福島県高付加価値産地創出支援事業 ● インバウンド創出プラットフォーム事業 ● ふくしまの漁業の魅力を発信・発信事業	● 避難地域への移住促進事業 ● 福島県産品PR推進事業 ● 福島県産品PR推進事業	● 健康長寿ふくしま推進事業 ● 学びのまちづくり推進事業 ● 女性活躍・働き方改革推進事業	● 再生可能エネルギー地産地消支援事業 ● 観光振興のまちづくり推進事業 ● デジタル変革(DX)推進事業
5 安全・安心な暮らし 115事業 754億円	6 産業推進・なりわい再生 73事業 745億円	7 こことづくり 56事業 988億円	8 魅力発信・交流促進 45事業 41億円
● 緊急時・広域環境放射能監視事業 ● 避難者見守り活動支援事業 ● 感染症専門人材養成等事業	● 福島県産品PR推進事業 ● 福島県産品PR推進事業 ● 福島県産品PR推進事業	● ホップ・ステップ・ダンス推進事業 ● 若く人づくり推進事業 ● 林業人材育成事業 ● 園芸生産拠点育成支援事業	● ホップ・ステップ・ダンス推進事業 ● 「来て、買って、」絶景、只見湖活用事業 ● ふくしまグリーン復興推進事業

令和3年度一般会計補正予算などを議決

2月24日、総額1兆76億1,200万円を減額計上した令和3年度一般会計補正予算案等17件の議案が提出されました。各常任委員会審査を行い、3月8日の本会議で委員長報告の後採決の結果、いずれも可決しました。

補正予算の主な内容は、新型コロナウイルス感染症対策として入院病床確保のための医療機関への補助金、除雪事業、除染に伴う除去土壌搬出事業など事務事業の年間所要見込額の確定による補正などとなっています。

一般会計補正予算額 ▲176億1,200万円(第18号) (令和3年度予算累計額 1兆4,026億6,700万円)
1 新型コロナウイルス感染症対策 248億9,321万円 (1)入院病床の確保 33億6,034万円 (2)感染症拡大防止協力金 21億1,556万円 (3)観光需要創出支援事業 123億7,977万円
2 強い農業づくり整備事業 13億6,085万円
3 除雪事業 19億4,403万円
4 除染に伴う除去土壌搬出等事業 ▲91億7,592万円
5 公共事業・県単公共事業・維持補修費(再掲) ▲201億8,178万円

福島県沖地震への緊急対応
3月16日深夜に福島県沖を震源とする地震が発生したことを受け、県議会では17及び18日に予定していた総括審査会を中止し、被害状況の全容把握と緊急対応や支援を最優先に講じられる態勢をとった。18日の常任委員会で、県当局から地震の被害状況等を聴取したのちに、知事提出議案等の採決を行った。

議員提出議案「ロシアによるウクライナ侵略に断固抗議する決議」を可決
2月24日、ロシアがウクライナに軍事侵襲した件について、県議会では3月2日、隣国の主権と領土を武力で踏みつける暴挙であり、国際法に違反する明らかで断固たる抗議を表明し、断じて許すことできないと抗議し、即時の攻撃停止と完全撤退を求めるとともに、日本政府は在日米軍の確保に全力を尽くすことを呼びかけていく。

永年勤続功労者を表彰
2月14日の本会議で、渡辺義信議長が24年の永きにわたる職務に精励し、県政の発展に貢献された佐藤憲保議員を永年勤続功労者として表彰した。

6常任委員会が審査・現地調査を実施
3月7日、9日、10日、14日、15日及び18日に6常任委員会はそれぞれが所管する部局等の議案審査等を行った。そのうち農林水産委員会(佐々木彰委員長)と土木委員会(宮川政夫委員長)は15日に現地調査を実施した。農林水産委員会では多角化経営により震災からの復興に取り組み伊達市内の民間企業を、土木委員会は国道349号梁川バイパスや塩野川の整備状況などを調査した。

3特別委員会を開催
3月16日に復興加速化・安全安心な県づくり(谷谷健市委員長)、県民健康(こともの未来(長尾トモ子委員長)、産業再生・環境共生(遊佐久男委員長)の3調査特別委員会を開き、中間報告を取りまとめた。

ICT化検討会を開催し議長へ報告
3月10日、ICT化検討会(鈴木智会長)を開き、報告内容(案)を協議し、電子化の場、電子データ化する資料について協議した。

可決した国への意見書 (意見書は令和4年3月22日、国へ提出)
● 地域の特性と東日本大震災の影響を最大限に考慮した衆議院小選挙区の区割り改定を求める意見書
● 多核種除去設備等処理水の処分に関する国民・県民の理解醸成に向けた取組の強化を求める意見書
● 地方創生と感染症対策に資するデジタル化の推進を求める意見書
● 介護職員の処遇改善に関する手続の簡素化と対象職種拡大を求める意見書

お知らせ
◆令和4年6月定例会は、6月21日(火)開会の予定です。
◆インターネット中継でお届けするほか、画面に手話通訳の映像が挿入されます。
◆ご意見・ご感想をお寄せください。
TEL: (024)521-7608 FAX: (024)521-7965
メール: gikaikoho@pref.fukushima.lg.jp
◆「福島県議会フェイスブック」「福島県議会公式チャンネル(YouTube)」、「福島県議会ツイッター」もご覧ください。
◆県議会インターネット中継(生中継・録画中継)はスマートフォンやタブレット端末からでもご覧いただけます。
◆詳しい情報は [福島県議会](#) 検索

令和4年度当初予算編成
【質疑】知事は、令和4年度当初予算をどのような考えで編成されたのか。
【答弁】東日本大震災と原発事故から10年が経過し、避難指示の解除や帰還に向けた取組が進むなど福島県の復興は着実に前進した。一方で、今もなお多くの人が避難生活を続け、避難地域の復興・廃炉と汚染水・処理水対策、風評と風化、新型コロナウイルス感染症への対応など多くの困難を抱えている。

新たな総合計画
【質疑】新たな総合計画において、本県の将来像をどのように描いていくのか。
【答弁】新しい総合計画の基本目標は、2030年を見据えて、人口の拡大や新たな風評への懸念に対する多様な情報発信、カポニユニットの実現に向けた企業との連携、デジタル変革や防災力の強化などを着実に推進する。

新型コロナウイルス感染症対策
【質疑】知事は、オミクロン株の感染拡大を踏まえ、新型コロナウイルス感染症対策にどのような取り組みをいくのか。
【答弁】感染力が極めて強いオミクロン株を抑え込むには、マスクの正しい着用、手指消毒、こまめな換気などの基本対策の徹底が有効である。また、密閉、密集、密接を常に回避する必要がある。ひとつの密でも感染リスクが高まる。

観光産業の復興
【質疑】アフターコロナを見据え、観光復興にどのような取り組みをいくのか。
【答弁】新型コロナウイルス感染症は裾野の広い観光産業に大きな影響を及ぼし、県で観光産業の復興を図っていく。

県立高等学校改革
【質疑】県教育委員会は、県立高等学校改革後期実施計画をどのように進めていくのか。
【答弁】県教育委員会は、立高等学校改革後期実施計画をどのように進めていくのか。

警察行政
【質疑】県警察は、警察業務におけるDXの推進などについてどのように取り組んでいくのか。
【答弁】福島県警察デジタル推進基本方針の策定により、デジタル技術を活用して、許可申請や届け出をウェブサイ上で可能にするなど行政手続をオンライン化し、県民に対する利便性の向上を図った。また、警察活動用モバイル端末の導入を促進し、警察業務の効率化・高度化を徹底する。サイバー攻撃への対策については、福島県ネットワークセキュリティ協議会を設立してセキュリティ対策に関する連携を強化し、無償貸出による普及促進に努めている。

被害防止
【質疑】なりすまし詐欺の現状と県民に対する被害防止対策について尋ねた。
【答弁】令和3年のなりすまし詐欺の被害件数は前年より減少したものの、選付金詐欺の被害が大幅に増加するなど深刻な情勢が続いており、最新の被害や手口を、メール、SNS、新聞などを通じて速やかに発信し、高齢者やその家族が警戒心を高める取組を継続している。

新型コロナウイルス感染症が拡大しています
普段の生活において、
● マスクを外して会話をしない。
● 手洗いはこまめに、また丁寧に。
● 定期的な換気をする。
● 体調が悪いときは休養をとる。
など、私たちが一人ひとりで、基本的対策を徹底していきましょう。